

GGプロジェクト

「植えよう(クヌギ、しいたけ)！  
作ろう(バウムクーヘン)！」

2月28日(土)晴天の下、ならやまベースキャンプでGGイベントを行いました。参加者は過去最多の98人(子供51人、保護者・関係者47人)。これに対しスタッフも48人が参加しました。

今年は1月・2月に雨が多くイベントの準備等が遅れたうえに、直前になって参加者も増えてたりして、少し不安なスタートとなりました。

10時開会式の後で全員写真。参加者の多さにカメラマンも一苦勞。このイベントでは全体を3組に分け、各組を更に2班に分けることにしました。



午前中は3組とも里山林でシイタケ菌打ち作業等にかかりました。まず立木伐採・木槌製作作業と、ホダ木に穴をあける作業と、機械を使った薪割り作業を3組がローテーションして行い、更に菌打ち・ホダ木運搬作業を行いました。各所で賑やかな笑い声・歓声。山中を整列して移動する子供たちの姿。里山林が生き生きとした姿を見せていました。ベースキャンプへの帰りにシイタケ採りをしました。ホダ木に鈴なりの椎茸に大喜び。大量の収穫でした。



恒例のみそ汁を振舞っての昼食。ベースキャンプはお祭り会場のような賑わいでした。

午後は1組+1班が1グループになって2つの作業にかかりました。1つは初の試みで、里山林

でのクヌギの植樹です。予め穴を深く掘り埋戻した所をスコップで掘り返し、根切りした3年物のクヌギの苗を植えます。それに支柱を立て、子供たちがその場で記名したプレートを括り付ける作業でした。方々で自分の植えたクヌギの前で記念写真。親子で大いに楽しんでいる様子でした。



別のグループはベースキャンプでバウムクーヘン作り。3つの班が夫々2本の竹を使って顔を真っ赤にして奮闘。今回は保護者が積極的に参加しました。やはり冬の行事だなあ！ほくほくのバウムクーヘンを班毎に食べました。



最後に子供と保護者に別々のアンケート用紙を渡しました。“お土産付き”が分かると必死になって書き、回収率が共に9割以上！3時過ぎに閉会式を終えて、お土産のホダ木などを抱きかかえて帰途につかれました。スタッフの頑張りのおかげで無事にイベントは終わり、アンケート結果も非常に好評でした。約100人のお客様を迎えるという初体験での課題は検討して以降のイベントに役立てたいと思います。

(森 英雄)